



新造客船建造プロジェクトへの参画について

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、郵船クルーズ株式会社（以下、NYKC）が発注する日本籍船最大（発表時）の新造客船の建造プロジェクト（以下、同プロジェクト）について、建造資金を提供する金融団として参画し、3月26日にファイナンス関連契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

NYKCは、クルーズシップ・オブ・ザ・イヤーを28年連続で受賞する日本のラグジュアリー客船「飛鳥II」を運航する会社です。NYKCが運航する客船は、「和のおもてなし」を追求した日本人のためのラグジュアリーな客船で、日本各地を巡るクルーズの他、日本船籍で唯一となる世界一周クルーズをも実施し、圧倒的なブランドを築いています。

同プロジェクトへの参画は、当行お取引先との連携や、県内の観光資源・特産品・工芸品に関する情報発信、「クルーズ船の誘致による観光消費等関連産業への経済効果」などを通じて、地域経済への貢献も期待できるものであり、当行が積極的に展開する地域創生の取組みにも適うものとなります。

なお、本建造プロジェクトにおける新造客船は、2025年の竣工を予定しており、竣工後はNYKCにより運航され、幅広い客層へクルーズの新たな魅力をお届けする予定です。また本船は、環境負荷低減をコンセプトの1つとし、中型規模の客船（50,000～100,000トン）としては初となる、化石燃料としては最もクリーンな燃料とされるLNG（液化天然ガス）の燃焼が可能なエンジンを搭載。換気対策（100%外気取り込み方式採用）の他、タッチレス対応エレベーターやイオン殺菌装置等、様々な感染症対策も導入される予定です。

当行は、地域社会の活性化・持続的な発展への貢献を積極的に進めており、今後も、事業活動を通じて、地域密着型金融の取組みを一層強化してまいります。

